

藤井学園・聖ベルンハルト・ギムナジウム姉妹校署名式 総領事挨拶原案

ハイエス市長、
藤井理事長、
ペータス校長、
ホフマッハー様、
稲留様、
ご列席の皆様、

本日は、藤井学園と聖ベルンハルト・ギムナジウム間の姉妹校提携署名式に参列し、挨拶の機会を頂いたことを大変光栄に思っております。まず初めに、本日、この署名式がここネアゼン城にて、こうして盛大に開催されますことにつき、ハイエス市長に心から御礼申し上げます。また、今回の姉妹校提携につきまして藤井理事長、ペータス校長、ホフマッハー様にもお祝い申し上げます。

今回の丸亀市の藤井学園とヴィリッヒ市の聖ベルンハルト・ギムナジウム両校の姉妹校協定の締結により、さらなる具体的な交流をもたらし、ヴィリッヒと丸亀両市を更に近づけるための確たる基礎が築かれることとなります。すなわち、両市の間では、当面は「友好協定」に基づく交流から始まることとなりますが、長期的には正式な姉妹都市に発展していくことが期待されるところです。そのためには、様々なレベルにおける持続可能な交流が必要となりますが、このたびの両校間の交流こそが右に大きく寄与するものです。

生徒や教員のみならず、両都市のすべての市民が交流に関与し、将来的な姉妹都市交流について納得して頂けるような、人と人との交流やその他のプロジェクトがここから生まれることを心から願っています。

御存じの通りヴィリッヒは日本企業にとって重要な拠点であり、特に、活発なヴィリッヒ日本クラブを擁する当地における日本のプレゼンスは、日独両国民間の友好関係の深化と調和的な共生のために重要な役割を果たしています。毎年行われているアスパラガス祭りはこの友好の証であり、この関連で、ご自身でプロ並みのトラクター運転をしてくださるハイエス市長にも心からの感謝を表明します。

丸亀市とドイツは、丸亀にあった俘虜収容所に始まり、次第に日独両国民間の真の友情をもたらし、今でも同地におけるドイツとの活発な交流の基礎になっている、１００年以上の長い歴史で結ばれています。１９１８年にはベートーベン「第九」交響曲が丸亀にほど近い板東俘虜収容所において、日本で初めて全曲演奏されました。よって来年は「第九」日本初演１００周年を迎えます。１２月には丸亀市で「歓喜の歌」が合唱されています（それは日本の他のどの町よりも相応しいことだと思います）ので、来年の第九１００周年は、ベートーベンに関するプロジェクトやその他のアイディアを通じて丸亀とヴィリッヒとの交流を発展させる良い機会を提供するでしょう。当館も来年のデュッセルドルフ日本映画週間に向けて、ベートーベンあるいは四国地方に関する映画を上映する予定です。

皆様、

最後になりますが、藤井学園・聖ベルンハルト・ギムナジウム姉妹校提携のご成功をお祈り申し上げます。これからの交流が実を結び、両都市の市民に喜んでいただき、ひいては日独友好関係に末永く貢献することを期待しております。ご清聴ありがとうございました。